

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 「和らぎ」「喜び」

日付 平成 20年 3月 31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

母体の病院は、この地で総合医療・老健リハビリ・在宅介護支援を営んで、市民の健康を守ってきたが、理事長は医療と福祉介護が一体化して高齢化しても住み慣れた地域で暮らせる社会が必要と考え各施設の充実とともに平成15年6月にグループホームを設立した。同一敷地内にはデイサービス事業所も同じく設立され、母体法人と共通の理念と基本方針を基に、認知症利用者に満足度が与えられる素晴らしい居住空間も提供でき、向上心の高い管理者によって順調なスタートを切る事ができた。利用者もまだ活動的な人が多く、ホームの中は活気づいていた。岡山県の中でも素晴らしいホームの誕生と感心した。設立した1年後から私たちが外部評価に参加させてもらった時の印象だった。丁度3年位経過したまでは利用者も職員共“人間らしく生きて”“自分らしく生活する”という2つの機能をバランス良く混えて活気あるホームだったが、3年経過した頃から利用者の高齢化と認知症の障害が高まり、利用者の生活の活力の低下が感じられる頃があり、ホームの峠も3年、5年が大切と言ってきたのを思い出している。

その頃、ユニット毎に居た管理者の一人が退職し、平成17年から一人の管理者が両方のユニットを管理するようになった。その時の事をその管理者に聞いてみた。このホームの運営方針にもあるが、『グループホームの概念は「施設」ではなく「家」ですから、あくまでも地域の普通の「家」の暮らしを大切にしています。スタッフはお年寄りの尊厳を重視しながら、自立支援を考えたケアを行うと共に、生活を共有してより良い家庭的な関係となり、お年寄りの安心する環境づくりに努めます』と示されている。これにも関連すると思うが、管理者は「普通の生活にこだわり、家庭としての機能を再現したかった」として、利用者の外出の目的について管理者と職員で考え方の食い違いが生じ、職員の退職に結びついた混乱が生じたのだそうだ。管理者の真面目な性格から生じた結果だったが、その後は落ち着きを見せて元のホームのチームワークに戻っている。唯、利用者の高齢化や症状の進行による機能低下はきびしいものになり、環境の変化はどうすることも出来ない。しかし、買物に行ったり、外出したり、ドライブ等に行き、まだまだ元気な生活を続けている。

「ホームの立ち上げから、自分の思いを曲げたくなく、職員に押し付け過ぎた。今は職員と対話をして、職員の考え方にも従っている」と反省の弁も忘れていない。そして「管理者はユニットに1人ずつ居て、コンセンサスを取りながらホームを築いていくのが良い。一人ではきびしい」と付け加えた。このような経緯から立ち直り、3年目、5年目のジククスをうまく乗り越えた立派なホームを見る事が出来た。

特に改善の余地があると思われる点

認知症になってしまった人やその家族が、ホームで生活する意向や希望を介護計画を作る時に言っているが、入所当時からホームで生活することに対して抱いている本当のニーズは何なのか、もっと深刻に考えてみる必要があるのではないだろうかと感じる。利用者は、自分の家庭に居られない人が来て、ホームで症状も悪化していく人たちである。それを念頭に置いた実際のケアのあり方の基本方針が出てきそうに思う。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：理念や基本方針はしっかりして、職員も理解し、日常のケアサービスにも具体的に生かされているので、改善を必要とする要因はない。唯、法人全体の大きな共通事項に加えて、グループホームのケアサービス提供に応じたもっと具体性のある方針も必要かどうか検討して欲しい。</p> <p>2、全体的に見て…：「お客様の満足度の向上を、より良質のサービス提供を、優しさをもって、互いに尊敬を、喜びにあられ」が法人全体の共通理念である。グループホームは、この法人の一部門であり、どの部門も地域の一部だとも考えている。このような環境の中で、利用者本人は母体法人の連携の中で最期まで過ごせるという家族も安心感がある。そんな関係からホームの待機者も多い。グループホームの運営も法人全体で支えていく姿勢がある。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：2つのユニットの生活の場としての環境はそれぞれに特長を持ち、申し分ない。ユニットの中央には共通の集会場や客用の宿泊室もある。外回りに恵まれた環境で改善しなければならないところはない。</p> <p>2、全体的に見て…：広い敷地にグループホームとデイサービスがあり、お互いの事業所とその利用者も交流している時もある。外での生活を楽しむことも出来、近くの広大な公園も散歩コースとして利用している。</p> <p>グループホームは、ユニット毎に特長を出し、一つは明るい道に面した長屋風の街並みにしたものと、民芸和風調の造りのそれぞれのユニットに住み慣れているという雰囲気である。お風呂は桧風呂と木材をふんだんに使いこなしている。居室もトイレ、洗面所が完備され、各部屋の造作が全て違うという凝りようである。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：特に改善事項はないが、評価項目に対し、重要度を設定し、重点的に改良をしていこうと指摘している。</p> <p>2、全体的に見て…：どこのグループホームも共通点はあるが、利用者の高齢化は進み、認知症状の進行による精神的能力や身体機能の低下がある。利用者の退所がなく安定していれば尚更である。こんな状況下で、その人たちにどんなケアをしていけば良いのか、介護計画の中にその方針をしっかりと組み込んで、日々のケアに反映していかなければならないと、このホームでも考えている。</p> <p>又、ホームに薬漬けや不安不信に堕ちこんで人間性を失い入所してきた人を、手厚いケアによって人間回復させてあげた事例も多い。このようなケアができるのは、グループホームの特長であり、自分のケアを誇りとしてもらいたいと思う。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…：地域との関わり、家族への情報提供、職員のストレス軽減について等、管理項目に重軽をつけ、改良していこうとしている。改良には限界がないので、一つひとつ着実に改良していつてもらいたい。</p> <p>2、全体的に見て…：地域の医療。介護に貢献する母体法人は、グループホームの必要性を感じ、5年前に開設した。ホームも法人全体の一部門と位置づけ、月1回の法人会議にも出席するし、月2回は経営企画本部との打合せが現場であり、ホームの課題や改善策等を聞いたり、助言してくれる。管理者から法人の事務長、理事長へのパイプもあり、開放的である。管理者から「特長のないのが特長」と聞いたが、グループホームの存在価値を見出し、職員が働きがいを持ってよう、素晴らしい特長をつけてもらいたい。</p>		